

※本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 29 年 5 月 19 日

理事長 松山 良一

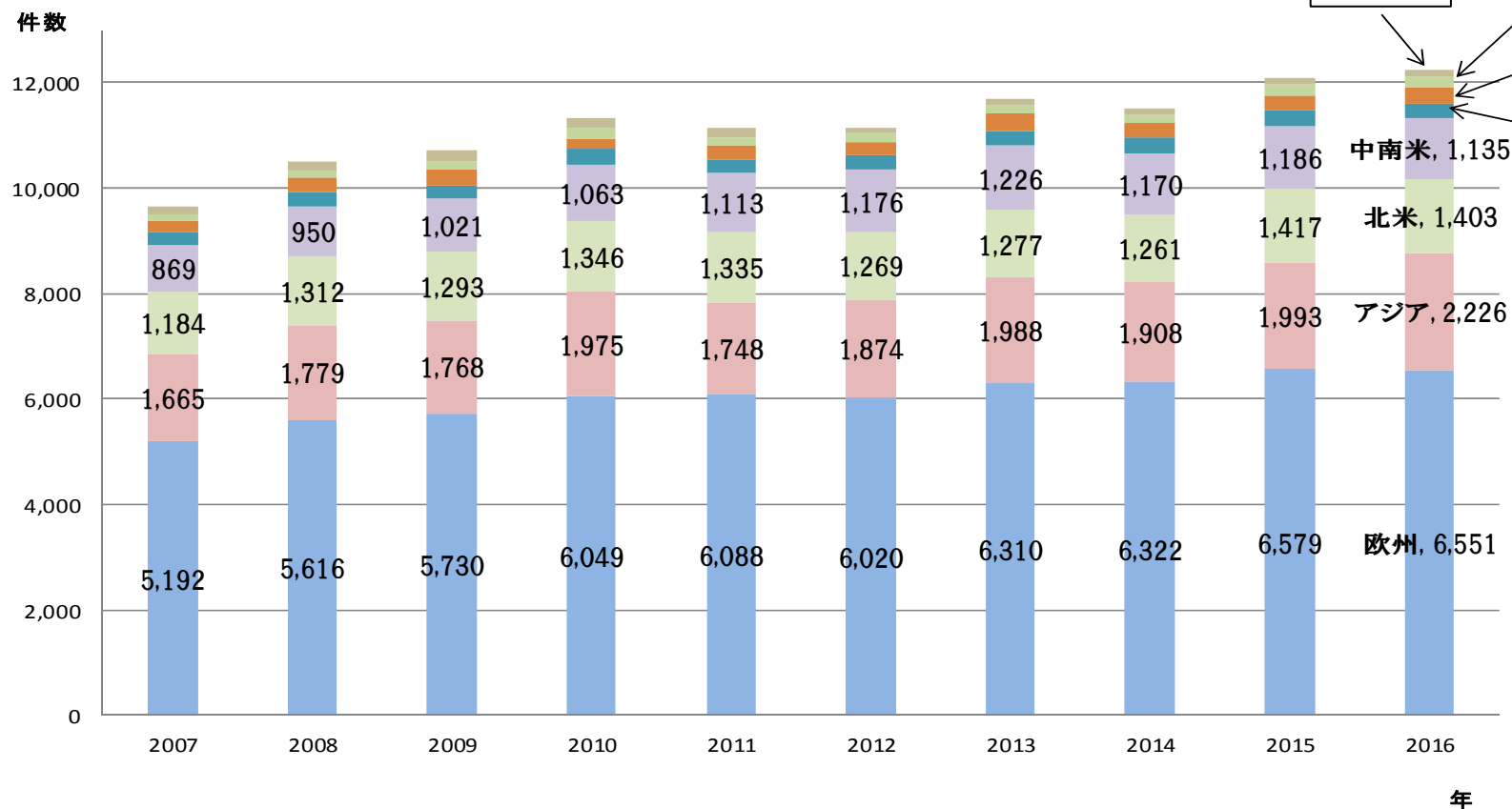
ICCA による 2016 年の国際会議開催統計の発表

日本の国際会議開催件数は過去最高の 410 件、アジア・オセアニア・中近東地域で 1 位を維持

- ICCA（注）が 2016 年 1 月～12 月に世界で開催された国際会議の統計（暫定値）を発表した。
（注）ICCA：国際会議協会（International Congress and Convention Association）
アムステルダムに本部を置き国際会議の開催状況を収集・発信している国際機関。世界 90 か国の約 1,000 団体の業界関係者が所属しており、年 1 回発表される世界の国際会議開催件数は、世界全体の国際会議開催状況を把握する統計として注目されている。
- 2016 年に世界で開催された国際会議開催件数は 12,227 件、前年より 151 件増となった。
- 2016 年に日本で開催された国際会議開催件数は対前年比 55 件増で過去最高の 410 件となり、中国と同数で世界 7 位、アジア・オセアニア・中近東地域で 1 位となった。また、日本の伸び率は対前年比 15.5% 増と、2012 年以来の 2 ケタの伸びを記録した。
（参考）2015 年 日本の国際会議開催件数：
355 件（世界で 7 位、アジア・オセアニア・中近東地域で 1 位）
- 都市別のランキングを見ると、日本の上位 5 都市は、東京が 21 位（95 件）、京都が 44 位（58 件）、大阪が 100 位（25 件）、福岡が 111 位（23 件）、神戸が 120 位（21 件）となっている。
- 2016 年には国際細胞学会（5 月、横浜）、国際心理学学会（7 月、横浜）、国際ライオンズ大会（6 月、福岡）等の参加者が 3,000 人を超える大型会議が 9 件開催されており、これら大型会議の開催決定による日本の認知度向上や、国を挙げて取り組んできた国際会議業界へのプロモーション、日本の各都市の受入環境の充実等が件数の増加に寄与したと考えられる。また、2020 年東京オリンピック・パラリンピックや 2019 年ラグビーワールドカップ等、メガイベントの日本開催が決定したことによる日本に対する注目度の向上、2012 年より 2016 年まで継続した円安傾向による割安感等も増加を後押しした要因と考えられる。

本件に関するお問い合わせ先：インバウンド戦略部 調査・コンサルティンググループ（青山） TEL 03-6691-3891

地域別国際会議開催件数の推移(2007～2016)

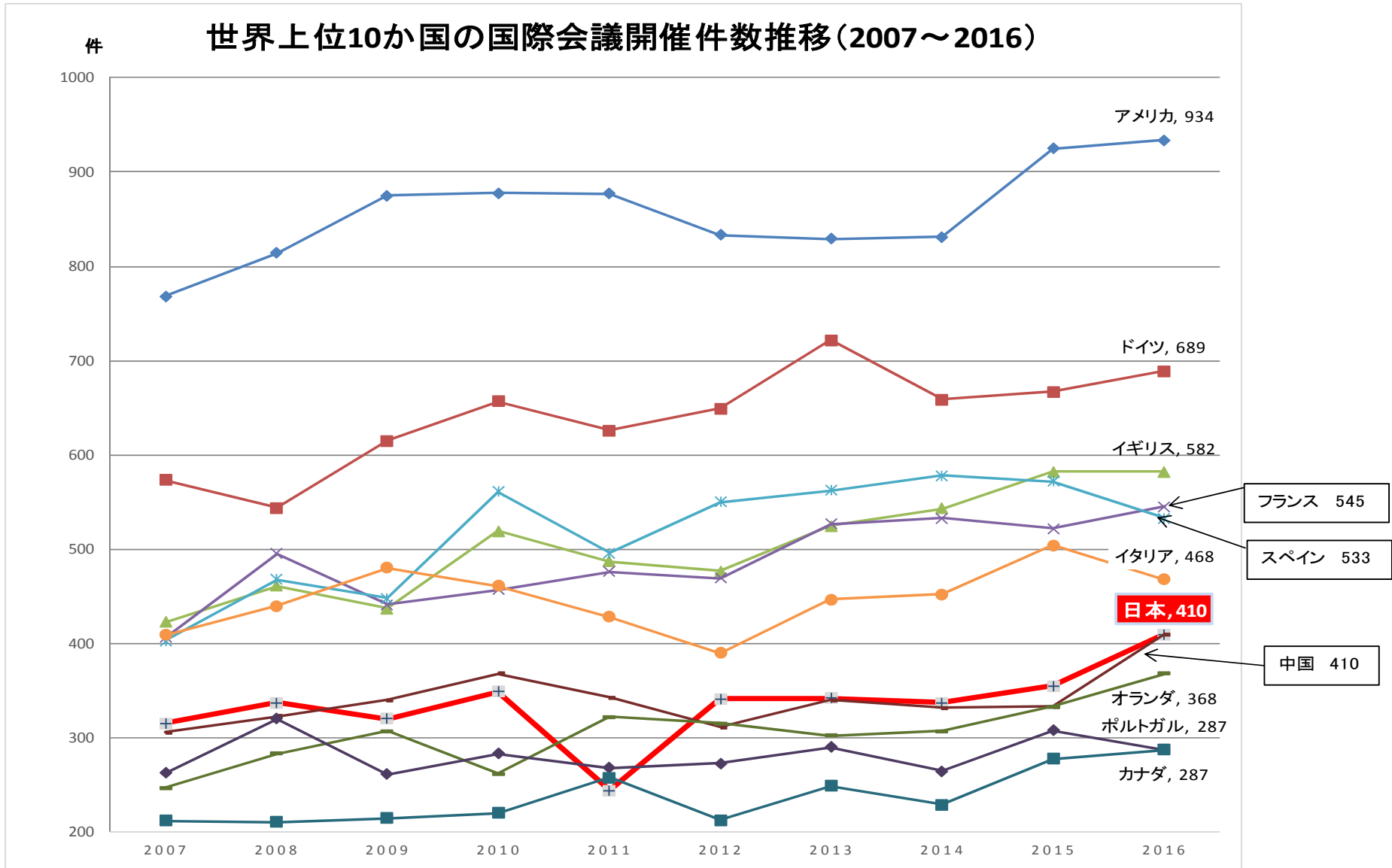


地域	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
※その他	145	178	203	203	183	106	102	111	110	103
※中東	115	139	178	186	154	170	181	158	220	220
※アフリカ	200	268	283	211	255	243	322	270	274	302
※オセアニア	267	259	245	300	257	298	279	305	297	287

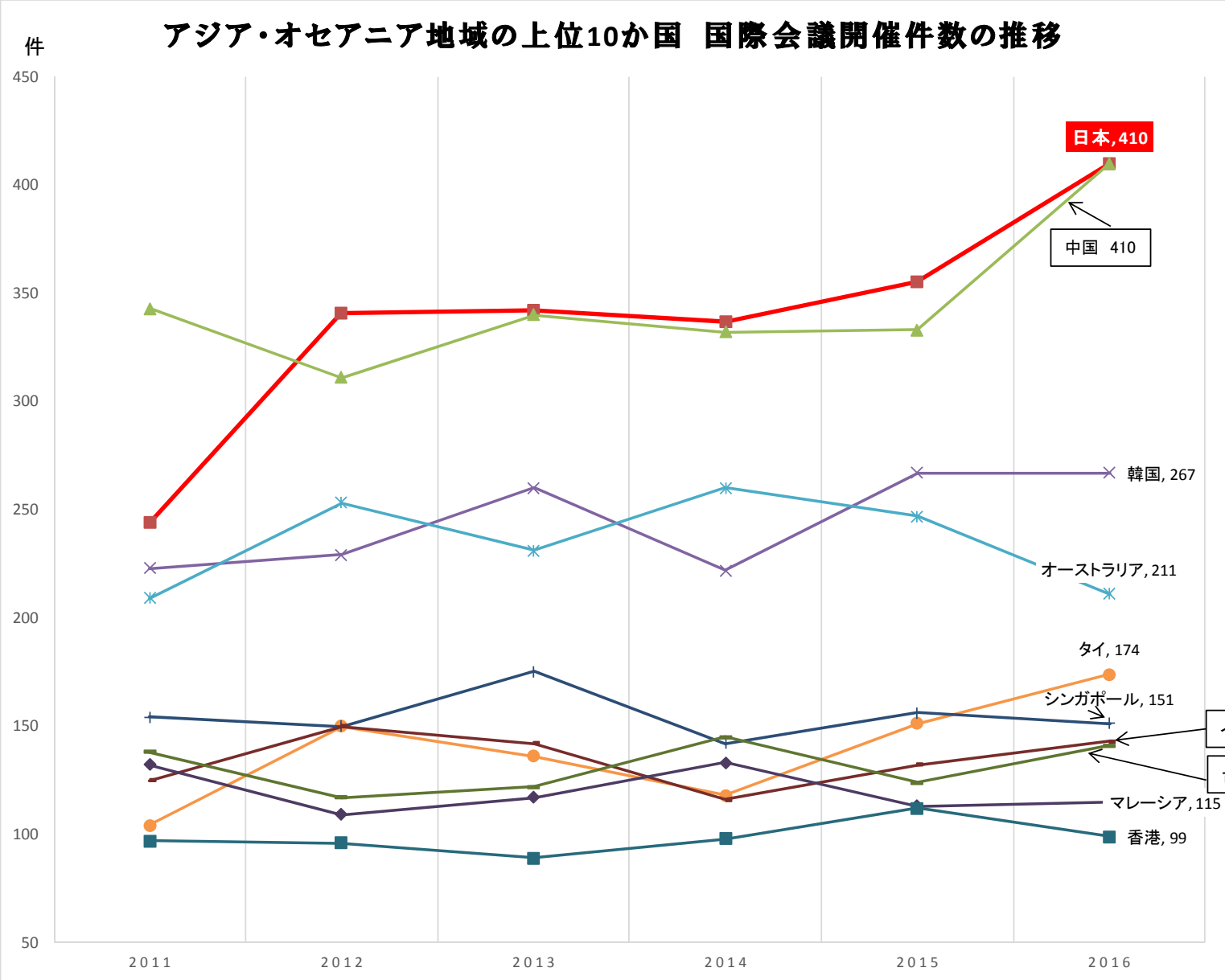
	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	10年間の伸率
世界	9,637	10,501	10,721	11,333	11,133	11,156	11,685	11,505	12,076	12,227	26.9%
日本	315	337	320	349	244	341	342	337	355	410	30.2%

出典：ICCA “A Modern History of International Association Meetings 1963-2012”, ICCA Statistics Report (2013, 2014, 2015, 2016)

注：ICCAは開催件数4件以下の国は地域分類をしておらず、「その他」に一括計上されている。



出典：ICCA “A Modern History of International Association Meetings 1963-2012” , ICCA Statistics Report (2013, 2014, 2015, 2016)



出典：ICCA “A Modern History of International Association Meetings 1963–2012”, ICCA Statistics Report (2013, 2014, 2015, 2016)

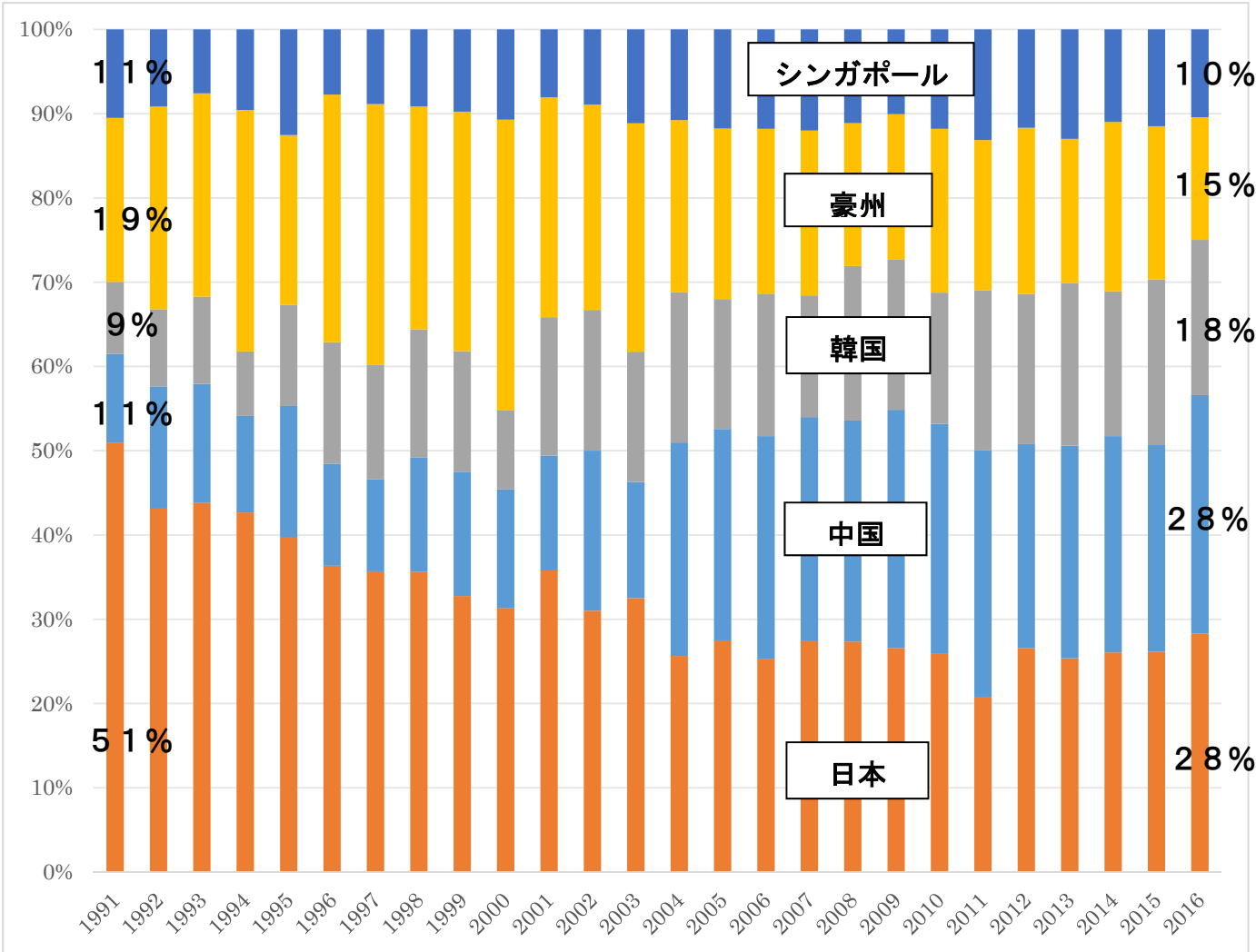
日本の都市 国際会議開催件数

2016年			
都市名	日本順位（前年順位）	世界順位（前年順位）	件数（前年件数）
東京	1 (1)	21 (28)	95 (80)
京都	2 (2)	44 (57)	58 (45)
大阪	3 (4)	100 (115)	25 (23)
福岡	4 (3)	111 (85)	23 (30)
神戸	5 (8)	120 (191)	21 (13)
横浜	5 (5)	120 (117)	21 (22)
札幌	7 (6)	152 (139)	17 (18)
名古屋	8 (7)	160 (182)	16 (14)
奈良	9 (12)	169 (276)	15 (8)
仙台	10 (10)	203 (254)	13 (9)
広島	11 (16)	279 (-)	9 (4)
金沢	12 (14)	301 (335)	8 (6)
北九州	13 (15)	324 (373)	7 (5)
つくば	14 (10)	357 (254)	6 (9)
千葉	15 (13)	392 (301)	5 (7)
松江	15 (29)	392 (-)	5 (1)
新潟	15 (17)	392 (-)	5 (3)
富山	15 (19)	392 (-)	5 (2)

出典：ICCA Statistics Report (2015, 2016)

注：開催件数4件以下の都市は除く（ICCAは開催件数4件以下の都市は「その他」に一括計上している。）

アジア・大洋州主要国の国際会議開催件数に対する日本のシェア推移（1991～2016）



出典：ICCA 統計より観光庁作成